

伝統と革新が 響き合う未来

～誰もが輝く社会をめざして～

Kyoto



第63回大会

2026年7月9日(木)～10日(金)
ホテルグランヴィア京都

第1日 7月9日(木)

■講演1:

「生成AIエージェントが切り拓く
製造業の未来とダイキンにおける
取り組み」

ダイキン工業株式会社
テクノロジー・イノベーションセンター 技師長

比戸 将平氏



- Fusion Project 報告・全国定時総会報告・表彰式
- 論文発表・エキスパートセッション
- ビジネス交流会

第2日 7月10日(金)

■講演2:

「なぜ、人は歴史を学ぶのか」

歴史小説・時代小説家

今村 翔吾氏



©SHIRO KOMATSU

- 論文発表
- 取り組み事例紹介

詳細・参加申込みについて

申込み締切：6月12日(金)

右の二次元コードあるいは下記URLから詳細をご確認ください。ご参加いただくには事前のご登録が必要です。

<https://www.it-user.hitachi.co.jp/HTML/taikai/taikai63/html/taikai63.html>



講演概要

講演1

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 技師長

比戸 将平氏



2026年に入り、AIエージェントの性能向上と対象範囲拡大が急速に進行している。ソフトウェア開発支援にとどまらず、法務・ファイナンス等の知識労働を自律的に遂行する専門家AIが次々と登場し、ホワイトカラーの働き方に改革が始まっている。本講演では、こうしたトレンドを踏まえ、高度な専門知識が求められる製造業におけるAI活用と働き方の変化を展望するとともに、2023年から続くダイキンの生成AI活用の実践を紹介する。

講演2

歴史小説・時代小説家
今村 翔吾氏



©SHIRO KOMATSU

現代には多くの困難が溢れており、将来は誰にも予測出来ないと思われていますが、果たしてそうでしょうか。テクノロジーは発展したとしても、人間の本質はさほど変わってはいません。歴史上の出来事、先人の決断、成功、失敗から学ぶことはあまりに多いです。これを知っていることで未来予測さえ出来てしまいます。乗り越える歴史を学ぶということは、人生の羅針盤になりえるのです。

プログラム

第1日：7月9日(木)

12:30～	開場 [3階 メイン会場]
13:30～13:35	開会のことば 第63回大会運営委員長 山本 祐輔
13:35～13:40	ご挨拶 会長 中田 一朗
13:40～14:20	講演1 「生成AIエージェントが切り拓く製造業の未来とダイキンにおける取り組み」 ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 技師長 比戸 将平氏
14:20～14:30	来賓挨拶 株式会社日立製作所 代表執行役 執行役社長兼CEO 徳永 俊昭氏
14:30～14:50	休憩
14:50～15:10	Fusion Project 報告・全国定時総会報告・功労者表彰式
15:10～15:30	日立IT論文賞 表彰式 講評 論文委員長 森口 幸浩
15:30～16:00	一般論文 特賞受賞論文発表 「三菱UFJダイレクト刷新プロジェクトについて」 三菱UFJインフォメーションテクノロジー株式会社
16:00～16:15	休憩・会場移動
16:15～16:45	受賞論文発表(3会場で同時開催) ■論文発表1：一般論文 「社給スマートフォンで実現する議事録デジタル変革」 株式会社中電シーティーアイ ■論文発表2：小論文 「少人数体制で挑むデジタル民主化の実践と成果」 株式会社アドテックプラズマテクノロジー ■論文発表3：若手チャレンジ論文 「製紙工場における配車業務の省力化 ～ユーザの声に応え続けた改善と評価～」 レンゴー株式会社
16:45～17:00	休憩・会場移動
17:00～17:30	エキスパートセッション(3会場で同時開催) ■セッション1：フィジカルAI ■セッション2：AIエージェント ■セッション3：DX人材育成
17:30～17:45	休憩・会場移動
17:45～18:45	ビジネス交流会(立食形式・軽食)

第2日：7月10日(金)

9:00～	開場 [5階 論文発表会場]
9:30～10:00	受賞論文発表(3会場で同時開催) ■論文発表4：一般論文 「生成AIによる学習レス画像分類の運用革新と精度向上～多物体対応と保守性改善を実現した実装と効果～」 株式会社オーイーシー ■論文発表5：小論文 「太陽光パネル破損検知AIの開発」 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア ■論文発表6：若手チャレンジ論文 「協力会社との協業による生産指示デジタル化と間接業務の効率化」 株式会社LIXIL
10:00～10:20	休憩・会場移動
10:20～10:50	取り組み事例 「日立のAI戦略と実際」 株式会社日立製作所 デジタルシステム&サービスセクター Chief Lumada Business Officer兼 AI&ソフトウェアサービスビジネスユニット事業主管/ Vise President AI Strategy 黒川 亮氏
10:50～11:00	休憩
11:00～12:00	講演2 「なぜ、人は歴史を学ぶのか」 歴史小説・時代小説家 今村 翔吾氏

お問い合わせ

株式会社日立製作所
デジタルシステム&サービス営業統括本部
フロントサポートセンタ内
日立IT ユーザ会事務局
E-Mail : y-jmk@ml.itg.hitachi.co.jp
URL : <https://www.it-user.hitachi.co.jp/>